



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 愛眼株式会社  
 コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々 昌俊

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,399	1.7	274	11.2	305	1.7	196	0.0
2019年3月期第2四半期	8,544	0.8	246	25.3	299	16.6	196	24.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 183百万円 ( 7.4%) 2019年3月期第2四半期 198百万円 ( 27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	10.10	
2019年3月期第2四半期	10.10	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,821	14,329	85.2
2019年3月期	16,686	14,223	85.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,329百万円 2019年3月期 14,223百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)期末の配当につきましては未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,221	0.1	232	3.2	296	3.5	153	7.1	7.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	21,076,154 株	2019年3月期	21,076,154 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,668,255 株	2019年3月期	1,667,879 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,408,153 株	2019年3月期2Q	19,408,439 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかに回復しているものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、日韓関係の悪化など海外の政治・経済情勢の不確実性や金融資本市場の変動による影響に加え、消費増税後の個人消費への影響も懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様からの支持・信頼の獲得に焦点を当てた営業戦略と経営資源の効率的な活用を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、眼鏡小売事業の既存店売上が前年同四半期比0.9%減と若干前年を下回り、売上高は8,399百万円(前年同四半期比1.7%減)となり、また、売上総利益率は、主に品種別の売上構成比の変化の影響で0.5ポイント上昇しました。一方、経費面では、新店開発、自社物件の店舗の建て替えや大型改装投資等の経費が嵩む要因があったものの、経費コントロールの徹底を図り、広告宣伝費、人件費、賃料などの圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は5,514百万円(前年同四半期比1.5%減)となり、売上高販管費率は0.1ポイントの上昇に止まりました。この結果、営業利益は274百万円(前年同四半期比11.2%増)、経常利益は305百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。しかしながら、特別損失として減損損失25百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は196百万円(前年同四半期比0.0%減)となりました。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

## 〔眼鏡小売事業〕

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として永年培ってきた快適で安心な視力・聴力補正技術、高い専門性を要する商品提案力と接客・サービス力の全てが結集した「愛眼ブランド」の競争優位性の強化に取り組んでおります。

商品につきましては、「目の健康」をテーマとして、幅広い年齢層のお客様の多岐にわたるニーズに対応した快適で機能的な高付加価値商品を開発することで、品質・価格の両面で競争力がありお客様満足度の向上に繋がる安心でお買い得な商品の品揃えを充実させ、マーチャンダイジングによる販売促進と各種広告媒体を通じた情報発信に努めてまいりました。

売上高につきましては、主に競争激化により低価格帯のメガネの販売数が減少したことに加え、日照不足の日が増えるなど天候不順によるサングラスの不振によって売上減となったものの、消費増税前の駆け込み需要があり、若干の減収に止まりました。

店舗につきましては、2店舗を新規に出店し、3店舗を閉店いたしました。また、1店舗で店舗建て替えを行い、4店舗で既存店の活性化改装を実施いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は8,044百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント利益327百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

## 〔眼鏡卸売事業〕

眼鏡卸売事業につきましては、取引先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組んでおります。

この結果、売上高は240百万円(前年同四半期比2.4%増)となり、セグメント利益は2百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

## 〔写真館事業〕

愛写館3店舗を営む写真館事業につきましては、人生の節目節目の記念日を感動的で素敵な思い出にできる豊富な撮影メニューを揃えるほか、家族の着物レンタルの無料オプションが付いた「七五三前撮り&秋の外出着物レンタルキャンペーン」や卒業式袴レンタル予約会を実施するなど集客に努めてまいりましたが、競争激化により厳しい状況が続いております。

この結果、写真館事業における売上高は39百万円(前年同四半期比13.4%減)、セグメント損失は41百万円(前年同四半期はセグメント損失36百万円)となりました。

## 〔海外眼鏡販売事業〕

海外眼鏡販売事業につきましては、中国での競争環境が引き続き厳しい状況にあるなか、愛眼のPB商品やメイド・イン・ジャパン商品の品揃えの強化による集客力アップに努め、採算面の改善に取り組んでおります。

この結果、売上高は75百万円(前年同四半期比0.5%減)、セグメント損失は5百万円(前年同四半期はセグメント損失6百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、有形固定資産の増加等により135百万円増加し16,821百万円（前連結会計年度末比0.8%増）となりました。また、負債合計は流動負債のその他に含まれる前受金の増加、支払手形及び買掛金の減少等により29百万円増加し2,492百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となり、純資産合計は14,329百万円（前連結会計年度末比0.7%増）で、自己資本比率は85.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、2,583百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動におけるキャッシュ・フローは417百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。

この現況に至った主な要因は、税金等調整前四半期純利益279百万円、減価償却費89百万円、仕入債務の減少額△73百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動におけるキャッシュ・フローは△363百万円（前年同四半期は199百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、有形固定資産の取得による支出△339百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは△132百万円（前年同四半期は△117百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、配当金の支払額△76百万円、リース債務の返済による支出△56百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては2019年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,414	5,332
受取手形及び売掛金	970	1,017
商品及び製品	2,078	2,078
原材料及び貯蔵品	27	33
その他	204	258
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,691	8,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,015	1,080
土地	1,887	1,878
リース資産（純額）	0	0
その他（純額）	215	317
有形固定資産合計	3,118	3,276
無形固定資産		
リース資産	21	13
その他	8	50
無形固定資産合計	29	63
投資その他の資産		
投資有価証券	932	908
敷金及び保証金	3,289	3,244
その他	624	611
投資その他の資産合計	4,847	4,764
固定資産合計	7,994	8,104
資産合計	16,686	16,821

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	641	567
未払法人税等	105	156
賞与引当金	86	123
その他	1,075	1,114
流動負債合計	1,909	1,961
固定負債		
繰延税金負債	26	21
再評価に係る繰延税金負債	6	6
資産除去債務	329	330
リース債務	26	8
その他	164	163
固定負債合計	553	530
負債合計	2,463	2,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	5,214	5,333
自己株式	△1,050	△1,051
株主資本合計	16,604	16,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	53
土地再評価差額金	△2,471	△2,471
為替換算調整勘定	26	24
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△2,393
純資産合計	14,223	14,329
負債純資産合計	16,686	16,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,544	8,399
売上原価	2,698	2,610
売上総利益	5,846	5,789
販売費及び一般管理費	5,599	5,514
営業利益	246	274
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	5	4
受取家賃	34	38
その他	30	14
営業外収益合計	76	61
営業外費用		
固定資産除却損	1	5
貸貸費用	20	24
その他	0	0
営業外費用合計	22	30
経常利益	299	305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	3	2
減損損失	28	25
特別損失合計	34	27
税金等調整前四半期純利益	265	279
法人税、住民税及び事業税	69	83
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	69	83
四半期純利益	196	196
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	196



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	196	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△10
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益合計	2	△12
四半期包括利益	198	183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	183
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	265	279
減価償却費	86	89
減損損失	28	25
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	37
売上債権の増減額(△は増加)	109	△46
たな卸資産の増減額(△は増加)	74	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	121	△73
その他	△31	142
小計	666	446
利息及び配当金の受取額	11	7
法人税等の支払額	△111	△46
法人税等の還付額	—	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	567	417
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△109	△339
有形固定資産の売却による収入	—	8
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	11
投資有価証券の償還による収入	300	—
その他	10	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	199	△363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△59	△56
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△57	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117	△132
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	648	△79
現金及び現金同等物の期首残高	2,249	2,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,898	2,583

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	8,187	235	45	75	8,544	—	8,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	45	—	—	45	△45	—
計	8,187	280	45	75	8,589	△45	8,544
セグメント利益又は損失 (△)	307	△0	△36	△6	264	△17	246

（注）1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外眼鏡販売	全社・消去	合計
減損損失	10	—	18	—	—	28

（注）「全社・消去」の金額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	8,044	240	39	75	8,399	—	8,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	37	—	—	37	△37	—
計	8,044	278	39	75	8,436	△37	8,399
セグメント利益又は損失 (△)	327	2	△41	△5	283	△9	274

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：百万円）

	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外眼鏡販売	全社・消去	合計
減損損失	25	—	—	—	—	25

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。